

# 宮田守男 ファイナル風 (現場)からの風

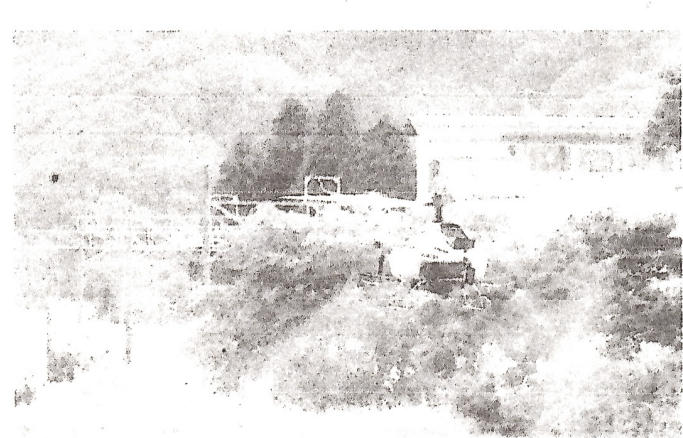
暦の上では秋を迎え  
たが、熱帯夜や真夏日  
の連続だった状況が一  
変した。7月中旬に  
は、海外でドイツとベ  
ルギーが集中豪雨に見

舞われ、数百年ぶりと  
もいわれる大洪水が発  
生。下旬にさしかか  
り、豪雨が今度は中国  
内陸部の河南省を襲  
い、広範囲が冠水。発  
表では、1時間に20  
0㎜超という「千年に  
一度」の激しい降雨を  
観測、被災者は140  
0万人との情報だ。

一方、北米では6月  
から7月にかけて熱波  
が発生し、気温が50度  
を超えた地点も。アフ  
リカの島国マダガスカ  
ルは干ばつが最悪で、  
100万人以上が飢餓  
に陥る恐れに直面して  
いる。

日本も上空に停滞す  
る前線の影響で、各地  
に記録的な大雨で気象  
庁は最大級の警戒が必  
要として、各地に大雨  
特別警報を発表。警戒  
レベルが最高の「5」  
に当たる「緊急安全確  
保」が発令された県が  
多数だ。「24時間予想  
雨量300㎜」・「8月  
の平均1カ月  
分の総雨量の  
3倍」など耳  
を疑う情報が  
多発した。ラジオ放送  
で、全国各地の災害情  
報を伝えている中、地  
元放送局から、地元関  
連の割り込み放送が連  
発。その異常さに災害  
列島の言葉がよりの鮮明  
に印象付けられる。

テレビ放送画面で  
は、時間の経過と共に  
増水する河川情報。極  
端さを増す異常気象は  
地球温暖化を示すとド  
イツのメルケル首相は  
「気候変動との闘いを  
加速させなければなら  
ない」と訴えたが、日  
本の政治リーダーから  
ことわざの中に「世  
界は一冊の本で  
あり、旅しない  
人は本を1ペー  
ジしか読んでい  
ない」がある。特に海  
外への旅は文化や生活  
習慣の違いまで体感で  
き、見聞が広がるのだ  
が、コロナ禍で旅がで  
きない。旅をする為  
に、毎日の生活に生き  
がいを持って取り組ん  
でいる人も多い。でき



カメムシ防除の空中散布だが降雨が続き適期の作業ができないため、今後の被害が心配だ

ない旅が、もたらす禍  
が少ないう事を祈るばか  
りだ。新型コロナウィ  
ルス感染の爆発的拡大  
が止まらない。感染列  
島と言われない対策を  
望むばかりだ。  
(信州地域社会フォー  
ラム会員・白馬村森上)